

こぞあ



標語：「なやみごと 一人じゃないよ みんないる」

栃木市 大平隣保館

令和3年3月発行 栃木市大平町新1305-3 TEL 0282-43-6611



人権作文

「おばあちゃんと 「コインランドリー」のひみつ」

大平西小学校 四年

小野 おの 愛珠 ありす



わたしのおばあちゃんは、茨城でヘルパーさんというお仕事をしています。

「お年よりのわたしが、お年よりのお世話をしているなんて笑っちゃうわよね。」
とじょうだんを言いながら、毎日のようにいくつかのお年よりの家をおとずれて身の回りのいろいろなお世話をしています。

去年の夏休みにおとまりに行ったとき、こんな出来事がありました。いっしょに遊べるのを楽しみにしていました。その日はずっと雨がふっていて、
「みんなの洗たく物がかわかないわあ。」
と困っていました。そんなおばあちゃんが、
「コインランドリーに行ってみよう。」
と言うので、遊べないのはざんねんだと思ったけれど、ついていくことにしました。
おばあちゃんのかんそうきのスイッチを入れると、何も言わずにお店のおそうじを始めました。お客さんなのに、どうしておそうじをするのかなあ…とふしぎな気持ちになりました。すると、
「いつもヘルパーさんでお世話している人の洗たく物もここを利用していいのよ。お店がきれいだとみんなも気持ちがいいでしょう。」
と言うのです。おばあちゃんは、自分から進んでおそうじをしているんだ、わたしなら出来ないあとはず

かしくなりました。すると、見回りに来た店員さんが、
「こんにちは。いつもおそうじをしてくれて、ありがとうございます。」
と明るく声をかけてくれました。
「今日は栃木のおまごさんもいっしょなのです。おばあちゃんね、ここに来るたびにきれいなおそうじをしてくれて、とても助かっているのよ。」
と教えてくれました。となりで聞いていたおばあちゃんは、とてもはるかしそうにしていました。わたしは自分のことのようにうれしくてたまりませんでした。
わたしの知らないところで、おばあちゃんは進んでよいことをしています。だれにも気づかれなくてもいいと思って行動していることが感じやをされて、親切心がみんなのわを広げています。ふかふかふわふわになった洗たく物といっしょに、わたしの心もあたたくくなりました。このことを家族のみんなに話すと、「人のために良いことをしてすてきだね。」





とおばあちゃんのみみつを知って、みんな笑顔になりました。

最初の一步をふみ出すことは、とても勇気のいることだけれど、大好きなおばあちゃんがコインランドリーの店員さんを感じやをされてはずかしそうにうれしがる笑顔を思い出せば、わたしにも何かできるような気がしました。

わたしの親切が、いつかだれかの心にとどいて、心をあたためることができたらいいと思いました。

「正しい知識と判断で」

大平中学校 三年

うめした はるき
梅下 陽貴



現在世界各国で、新型コロナウイルスが流行しています。私は、中学

一年生の時マレーシアにいたので、マレーシアの友達にマレーシアの今の様子を聞きました。私は、返ってきた答えに耳を疑いました。

友達は、タフシーに乗ろうとしたら、「日本人だから乗るな。」と言われたそうです。新型コロナウイルスによる差別が、マレーシアで起こっていたのです。その時は新型コロナウイルスの感染が始まったばかりのころだったので、私は本当に驚きました。

その友達は、日本に帰っていないのに、日本で多くの人が感染しているからという理由で、タフシーに乗せてもらえなかったというのです。運転手側からすれば、間違っていない正しい判断だと思っっているのでしょう。しかし友達から見れば、「差別を受けた。ひどい。」のひと言です。友達の周りにも新型コロナウイルスの感染者はいませんでした。つまり、「日本人だから乗せない。」という差別ということなのです。

他にも韓国で、ある日本人女性のことを「コロナ、コロナ。」とから

かって、その女性に暴行をした人がいるということを知りました。からかわれて暴行をされる、その日本人女性は、おそらくとんでもない恐怖やストレスを感じたと思います。彼女にわざわざ近づかなければいいのに、からかって暴行するなんて愚かな行動としか考えられません。

さらに、新型コロナウイルスによる差別の対象は、日本人だけではありません。アメリカのテキサス州で、中国系アメリカ人の家族三人が刺されるとい痛ましい事件がインターネット上で報道されています。加害者の動機は、中国系アメリカ人が他の人に新型コロナウイルスを感染させようとしていると思ったからだということです。その家族が本当に感染させようと思っただのかは信憑性がなく、加害者は勝手にそう判断して人を刺すという何があってもやっつけたいことをしたのです。その被害者家族によると、事件の数日前にも電車内で近くに居た人に「コロナ、コロナ。」とつぶやかれたそうです。その人たち





自身は、新型コロナウイルスに感染していないという事実は確かなことなのにー。

今回の事例を知って、私は独りよがりの間違った判断から差別が生まれるのだと改めて感じました。その人たちは感染していないのに、その人と同じ国の人や民族が多く感染しているからといって心ない行動をするのは、やってはいけない差別なのです。人のことをあれこれ言うより今やるべきことは、このウイルスが蔓延しないように一人一人が正しい知識を持ち、予防に努めることなのです。

私もこれからの生活で、人の考えに流されそうになるかもしれないかもしれません。しかし、その時は立ち止まってそれが正しいかどうか考え、自分で判断して行動できるようにしたいです。

隣保館新春書初め会

1月9日(土)隣保館で、年中さんから中学一年生まで、隣保館自主書道の石原先生と教室の皆さんのご指導の下、三密を避けながら、恒例の新春書初めを行いました。皆さん、時間が押してしまう程熱心に筆を走らせ、気持ちのこもった作品が完成しました。



法律相談

奇数月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。相談日は「広報とちぎ」に掲載されます。予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

生活相談や 困りごとは 大平隣保館へ

電話でのご相談はフリーダイヤルで

よろしく なやみなし

0120-46-7830

(平日午前8:30から
午後5:00まで)

表紙絵 絵手紙作家 根本晴夫さん
ねもと はるお
標語 大平西小学校3年 早川颯真さん
はやかわ そうま

